

「2.脳血管疾患のある方のケアマネジメント」

事例概要		コース	A・B・C ○で選択してください		受講番号	専Ⅱ B1 - B2	受講者氏名					
利用者情報	性別	男	女	年齢	才	要介護状態区分	要介護	1	2	3	4	5
〔このテーマに沿った事例のタイトル〕												
脳血管疾患の再発予防に向けた取り組み。												
〔生活全般に対する意向〕						〔生活歴〕						
<p style="color: red;">今の健康状態を維持したい。 週に1度はドライブに連れて行ってほしい。 畑仕事をできるようにになりたい。</p>						<p>事例検討会などで事例を提出するような形で 学歴・職業歴・家族歴などの生活歴を記載します。</p> <p>※事例のプライバシー等に注意。</p>						
〔事例の概要〕												
<p>事例検討会などで事例を提出するような形で、事例概要を記載します。ここでは、本人の人生の主なエピソードの他、テーマである脳血管疾患を発症したことなどについても記載できると良いです。</p> <p>※事例のプライバシー等に注意。</p>												
〔脳血管疾患を中心としたニーズ〕												
本人:						家族、友人等:						
<p style="color: red;">脳梗塞の再発を防ぎたい。 リハビリを続け回復を図りたい。 家の中で転ばずに歩きたい。</p>						<p style="color: red;">脳梗塞の再発を防ぎたい。 できることを増やして、回復してほしい。 介護保険のリハビリサービスを使ってほしい。</p>						
〔医療情報—脳血管疾患を中心に〕												
診断名		発症年		受診頻度・受診方法								
1 脳梗塞		令和2年1月		受診時の同行者の有無		<p style="color: red;">月1回・家族が受診介護 家族が同行(CMIは同行せず) 脳梗塞薬服薬。家族が介護。 疾病について一定の理解があり、再発を不安に感じている。</p>						
		令和5年2月		服薬について								
2				疾病に対する理解								
〔この事例(脳血管疾患)を担当しての「悩み」、「事例の課題」、「良かったこと」など〕												
<p style="color: red;">本人の主訴にはある程度対応できた。しかし、3年後に再発してしまい、疾病の医学的な管理ができていなかったことを痛感した。ただ、疾患については本人の病識があり、家族も理解があったので良かった。</p>												
〔この事例(脳血管疾患)からの学び、他の事例でも活かせると思うこと〕												
<p style="color: red;">これまでの支援ではあまり意識してこなかった「脳血管疾患の再発予防の取り組み」について、今後、学びを深めていきたい。</p>												

「3.認知症のある方のケアマネジメント」

事例概要		コース	A・B・C ○で選択してください		受講番号	専Ⅱ B1 - B2	受講者氏名					
利用者情報	性別	男	女	年齢	才	要介護状態区分	要介護	1	2	3	4	5
〔このテーマに沿った事例のタイトル〕												
認知症を有する本人の意思決定に関わった事例												
〔生活全般に対する意向〕						〔生活歴〕						
<p>今の健康状態を維持したい。 昔からの友達と交流したい。 車を運転したい。</p> <p>家族 認知症が進行しないようにしたい。</p>						<p>事例検討会などで事例を提出するような形で 学歴・職業歴・家族歴などの生活歴を記載します。</p> <p>※事例のプライバシー等に注意。</p>						
〔事例の概要〕												
<p>事例検討会などで事例を提出するような形で、事例概要を記載します。ここでは、本人の人生の主なエピソードの他、テーマである認知症を発症したことなどについても記載できると良いです。</p> <p>※事例のプライバシー等に注意。</p>												
〔認知症を中心としたニーズ〕												
本人：						家族、友人等：						
<p>いつまでもこの家で生活したい。 父親としての役割を持ち続けたい。 認知症が進まないように気を付けたい。</p>						<p>認知症の進行を防止したい。 定期的に受診をして、健康を維持したい。 転倒を防止したい。 免許は返納してほしい。</p>						
〔医療情報—認知症を中心に〕												
診断名		発症年		受診頻度・受診方法		毎月家族が受診介護。						
1 アルツハイマー型認知症		令和5年5月		受診時の同行者の有無		家族・CMも同行している。						
2				服薬について		アリセプト。家族が服薬介護。						
3				疾病に対する理解		まだ病気を理解する力がある。 認知症の進行に不安を感じている。						
〔この事例(認知症)を担当しての「悩み」、「事例の課題」、「良かったこと」など〕												
<p>本人はある程度現状を認識する力があり、「自分が壊れていく」等の訴えがあった。しかし、「バスも通らないところなので車は必要」と訴えたりもした。「意思の尊重」をテーマに、これからのことを話し合うことが、事例の課題の一つであるが、なかなか支援には至らない。事例では「運転免許」が問題となったが、本人の思いを尊重するか、安全を選択するか結論が出ていない。</p>												
〔この事例(認知症)からの学び、他の事例でも活かせると思うこと〕												
<p>認知症を有する人の人権を守る上で、彼らの、「意思決定」を支援することの必要性を感じた。他の事例においても認知症を有する本人の意思をどのようにくみ取るか学んでいきたい。</p>												

「4.大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント」

事例概要		コース	A・B・C ○で選択してください		受講番号	専Ⅱ B1 - B2	受講者氏名					
利用者情報	性別	男	女	年齢	才	要介護状態区分	要介護	1	2	3	4	5
[このテーマに沿った事例のタイトル] 大腿骨頸部骨折の再発を防ぐ体制づくり。												
[生活全般に対する意向] 転倒に注意したい。 リハビリを続け、歩けるようになりたい。 家族との交流の時間を大切にしたい。 夫と温泉に行きたい。						[生活歴] 事例検討会などで事例を提出するような形で 学歴・職業歴・家族歴などの生活歴を記載します。 ※事例のプライバシー等に注意。						
[事例の概要] 事例検討会などで事例を提出するような形で、事例概要を記載します。ここでは、本人の人生の主なエピソードの他、テーマである大腿骨頸部骨折を起こしたことなどについても記載できると良いです。 ※事例のプライバシー等に注意。												
[大腿骨頸部骨折を中心としたニーズ]												
本人： 骨粗しょう症の治療を続けたい。 転倒を防止したい。 日常生活動作の自立を目指したい。						家族、友人等： 転ばないで生活してほしい。 骨粗しょう症の治療を続けてほしい。 体調を見て、散歩を継続してほしい。						
[医療情報—大腿骨頸部骨折を中心に]												
診断名		発症年				受診頻度・受診方法		3カ月に1回・家族が受診介護				
1 大腿骨頸部骨折		令和4年11月				受診時の同行者の有無		家族が同行(CMIは同行せず)				
2						服薬について		骨の基質に関する薬。自己管理。				
3						疾病に対する理解		疾病について一定の理解がある。				
[この事例(大腿骨頸部骨折)を担当しての「悩み」、「事例の課題」、「良かったこと」など]												
本人・家族とも病識はあり、大腿骨頸部骨折の予防について理解してもらえた。しかし、必要な栄養素を摂取することや、地域交流などの予防策は十分にとれなかった。ケースあるいは家族によって得意でない項目もあり、うまく支援ができなかった。												
[この事例(大腿骨頸部骨折)からの学び、他の事例でも活かせると思うこと]												
事例を通して、リスク評価を行ったことは学びの一つであった。大腿骨頸部骨折は多くの利用者に認められるので他の事例でもリスク評価を試み、骨折の予防に役立てたい。												

「5.心疾患のある方のケアマネジメント」

事例概要		コース	A・B・C ○で選択してください		受講 番号	専Ⅱ B1 - B2		受講者 氏名						
利用者 情報	性別	男	女	年齢	才	要介護 状態区分	要介護	1	2	3	4	5		
〔このテーマに沿った事例のタイトル〕														
心疾患の予防のための注意項目														
〔生活全般に対する意向〕							〔生活歴〕							
<p style="color: red;">心疾患の発作が起こらないようにしたい。 主治医の受診、定期的な服薬を続けたい。 昔の映画をDVDで鑑賞したい。</p> <p style="color: red;">妻 煙草を辞めさせたい。</p>							<p style="color: blue;">事例検討会などで事例を提出するような形で 学歴・職業歴・家族歴などの生活歴を記載します。</p> <p style="color: blue;">※事例のプライバシー等に注意。</p>							
〔事例の概要〕														
<p style="color: blue;">事例検討会などで事例を提出するような形で、事例概要を記載します。ここでは、本人の人生の主なエピソードの他、テーマである心疾患を発症したことなどについても記載できると良いです。</p> <p style="color: blue;">※事例のプライバシー等に注意。</p>														
〔心疾患を中心としたニーズ〕														
本人：							家族、友人等：							
<p style="color: red;">定期受診を継続し、発作が起きたり入院したりすることがないように血圧や水分などに注意したい。</p>							<p style="color: red;">心疾患の再発を防ぎたい。 禁煙をしよう働きかけたい。 服薬を確実に続けてほしい。 温度差のある所は注意してほしい。</p>							
〔医療情報—心疾患を中心に〕														
診断名		発症年				受診頻度・受診方法								
1	心筋梗塞	令	和6年2月			受診時の同行者の有無		毎月長男が受診させる。 長男。CMは同行せず。 心疾患の薬。自己管理。 疾患そのものについては理解できているが、禁煙はできていない。						
2						服薬について								
3						疾病に対する理解								
〔この事例(心疾患)を担当しての「悩み」、「事例の課題」、「良かったこと」など〕														
<p>心疾患という一つの疾病だけではなく、体重、血圧、水分、塩分、休養、睡眠など様々な角度から現状を理解することが必要である。煙草については本人の楽しみではあるが何とか禁煙できるよう働きかけていきたい。</p>														
〔この事例(心疾患)からの学び、他の事例でも活かせると思うこと〕														
<p>本ケースに関して、体重・血圧・水分・塩分などの管理ができていなかった。心疾患を予防する上で基本的な事柄を改めて学んだ。他の利用者にも、心疾患のリスク要因について確認していきたい。</p>														

「6.誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント」

事例概要		コース	A・B・C ○で選択してください		受講番号	専Ⅱ B1 - B2	受講者氏名					
利用者情報	性別	男	女	年齢	才	要介護状態区分	要介護	1	2	3	4	5
[このテーマに沿った事例のタイトル] <b style="color: red;">誤嚥性肺炎のリスクの把握について												
[生活全般に対する意向] <b style="color: red;">体を動かす時間を増やしたい。 一人ではしっかり口腔ケアができないので手伝ってもらいたい。						[生活歴] 事例検討会などで事例を提出するような形で 学歴・職業歴・家族歴などの生活歴を記載します。 ※事例のプライバシー等に注意。						
[事例の概要] 事例検討会などで事例を提出するような形で、事例概要を記載します。ここでは、本人の人生の主なエピソードの他、テーマである誤嚥性肺炎を発症したことなどについても記載できると良いです。 ※事例のプライバシー等に注意。												
[誤嚥性肺炎を中心としたニーズ]												
本人： <b style="color: red;">誤嚥性肺炎を起こさないようにしたい。 一人ではしっかり口腔ケアができないので手伝ってもらいたい。						家族、友人等： <b style="color: red;">誤嚥性肺炎を起こさないために危険なことを知りたい。						
[医療情報—誤嚥性肺炎を中心に]												
診断名		発症年		受診頻度・受診方法		医師が毎月1回訪問。						
1 誤嚥性肺炎		令和5年12月		受診時の同行者の有無								
2 脳梗塞		令和5年9月		服薬について		内服薬は家族が投薬。						
3				疾病に対する理解		病識についてはない。						
[この事例(誤嚥性肺炎)を担当しての「悩み」、「事例の課題」、「良かったこと」など]												
<b style="color: red;">本人は脳梗塞による入院中に誤嚥性肺炎を発症した。病院からの指導もあり現在口腔ケアは徹底できている。ただ嚥下機能が十分ではなく、そのような点で誤嚥性肺炎のリスクは高いと思われる。												
[この事例(誤嚥性肺炎)からの学び、他の事例でも活かせると思うこと]												
<b style="color: red;">誤嚥性肺炎の方のケアマネジメントとして何を行うか悩んだが、まずはリスクの把握が重要であると学んだ。また、食事や口腔ケアについても改めてその重要性を学んだ。												